

パブリックコメント実施結果

(仮称)小牧市こども未来館整備基本構想（案）について、以下のとおり意見募集を行いました。

1 意見募集期間

平成30年2月7日（水）から平成30年3月8日（木）まで

2 意見募集の周知方法

- (1) 広報こまき 2月1日号
- (2) 市ホームページ

3 資料閲覧場所

- (1) 市役所情報公開コーナー（本庁舎1階）
- (2) 市役所こども政策課窓口（本庁舎1階）
- (3) 北里・味岡・東部市民センター及び都市センター、味岡・北里市民センター図書室、ふらっとみなみ、ゆう友せいぶ
- (4) 市ホームページ

4 提出された意見の件数

- (1) 提出意見数：69人 69件

(参考)意見提出方法の内訳(単位 件)

提出方法	郵送	メール	ファックス	持参	計
人数	4	6	30	29	69

- (2) 有効意見数*：65人 65件

*提出された意見（69件）から、必要事項（住所・氏名等）が未記入のもの（3件）、「(仮称)小牧市こども未来館整備基本構想（案）」に対する意見ではないため、市の考え方を示すことは差し控えた意見（1件）を除いたもの。

5 結果について

- (1) 公開について

広報こまき「4月15日号」で実施結果を公表するとともに、下記「6 実施結果閲覧場所」において、市の考え方を公開します。

※公開期間：平成30年4月4日（水）～7月3日（火）

(2) その他

パブリックコメントについては、意見募集を行った、(仮称)小牧市こども未来館整備基本構想(案)に対する意見についてのみ、市の考え方を示すこととしていますが、意見募集の結果、新図書館に対する意見が多かったことから、このことについて、以下のとおり市の考え方を示すこととします。

《市の考え方》

新図書館の建設位置につきましては、住民投票後に設置された「新小牧市立図書館建設審議会」での議論および、その答申の多数意見を尊重して決定したものであります。

そのうえで、空床となったラピオ内に市が所有する床の有効活用の観点から、かねてより課題であった「中央子育て支援センター」および「児童センター」の狭隘化に対応し、子育て支援機能の一層の充実を図るため、(仮称)小牧市こども未来館として整備することとしたものです。

6 実施結果閲覧場所

- (1) 市役所情報公開コーナー(本庁舎 1階)
- (2) 市役所こども政策課窓口(本庁舎 1階)
- (3) 北里・味岡・東部市民センター及び都市センター、味岡・北里市民センター図書室、ふらっとみなみ、ゆう友せいぶ
- (4) 児童センター及び各児童館※(小牧・味岡・北里・篠岡・大城・小牧南・西部)

※意見募集の結果、児童館に関する意見もあったため、児童センターおよび各児童館でも閲覧できるようにします。

- (5) 市ホームページ

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
1	<p>「こども未来館整備基本構想案」を見ると、「こども未来館」は、大型遊具が有料で使えるような商業娯楽施設程度のイメージしか湧いてこない。中に入っているのは、基本有料のボールプール・ボルダリング・ネット遊具・トランポリン。これが1・2階のかなりの部分を占めている。加えて工作室や調理室・多目的室等でスペースを稼いでおり、これで子どもの未来を創る施設というのには、かなり無理があると思われる。本当に必要だとはとても考えられず、利用者もいるのかさえ怪しいものになっていると言わなければならない。学校行事利用を除いては、平日はほぼ利用のない施設になることまで予想できる。</p> <p>建設(改修)費も24億円とのことであり、新図書館とは別にこのような箱モノ施設を市が背負うことは、今後の施設維持管理への血税の投入という点からも、後の世代につけを回すことになり、よろしくないとする。</p> <p>また、小牧市は「多極ネットワーク型コンパクトシティ」を標榜している以上、児童館などの子育て支援施設も図書館の支所なども、各地域ごとに充実させていくのが、本来のあり方だと考えられる。「こども未来館」のような中央箱モノづくりの行政は、過去の遺物だという批判は免れない。</p> <p>施政方針演説にもない一時的な思いつきで「こども未来館」を造るというのはキツパリ中止し、A街区に新図書館を建設するのも止めるべきである。その上で、現ラピオには、元からあった「絵本図書館」と「子育て広場」「市民ギャラリー」はそのままにして、新図書館と「子育て支援センター」機能のみを、追加で新たに入れるべきである。それだけのスペースはあるはずである。今からでも、まだ遅くはない。後世代に禍根を残さない判断を望みたい。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p> <p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。したがって、本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものであり、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。</p>
2	<p>こども未来館の構想を知り意見します。</p> <p>このような計画はピーチライナーに匹敵する愚かな計画であると考えます。珍しいものを見たさに多少の人は集まるかもしれませんが、事業のランニングコストが増すばかりで、維持することができず、大赤字となることが目に浮かびます。改築工事により、建物は取り返しのつかないものになってしまうことでしょうか。</p> <p>現在小牧市の財政は潤っていますが、少子高齢化、石油などエネルギーの高騰、輸入食料の高騰などにより増税時代が到来することは明らかです。将来の小牧市も例外ではありません。</p> <p>今なすべきことはランニングコストを抑えた都市づくりであると考えます。そのためには巨大な建物を控えエネルギー消費量を小さくせねばなりません。繰り返しますが、大量のエネルギーを消費する建築物はエネルギーの高騰により未来の借金となることは明らかです。</p> <p>どうかこの意見に耳を傾け、もう一度、考え直していただきますようお願いいたします。</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に丁寧な説明を 無駄遣いはやめて ラピオに「有料子ども未来館」をつくるのは駅西に無駄な図書館を作るための重ねての市税の無駄遣いである。市長思い付きで、第二のピーチライナーとなりかねない、夢の宣伝でなく、内容がよくわかる(費用・誰のためかなど)未来館の説明会を無数にやってほしい。 ・時代に合った図書館機能の充実を 学校の補修や現図書館の人材の充実や、市民に提供しやすい図書館機能として、地域の市民センターや市のあらゆる施設で注文すれば入手できる制度の充実が良い。 ・箱モノより福祉・教育の充実を 市税は教育や福祉・社会保障の充実(介護施設の使いやすいものや医療や障害者支援など)に使ってほしい。国保税の連続引上げをやめてほしい。緊急時に使う「タクシー券制度」をつくってほしい。 ・楽しい地域の施設を 無駄のない簡素なものでよいから子ども読み聞かせ施設のある図書室・青年・老人福祉センターなど(集いや卓球などできる場所)施設を地域の歩いていけるとところにつくってほしい。 	<p>本事業について、個別の説明会の実施は考えておりませんが、事業の進捗状況については、広報やホームページ等により適宜市民の皆様にお知らせしていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
4	<p>ラーライブ ピーピープル オーオアシス</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民生活のいこいの場、お年寄りから子どもまで広く親しまれる場であるべき 急にコンセプト？を子ども子育てとすると市長が言い出したと思っている <p>【要 望】1. 子育て支援センターは入れても良い 2. 高齢者支援センターを入れる 3. 図書室を少し広くしてイスやテーブルを増やす</p> <p>【絶対反対】1. 何十億円もかけ遊具を入れ改装すること</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p> <p>ご要望の「子育て支援センター」については、「子育て世代包括支援センター」として3階に整備を行います。「高齢者支援センター」について設置の考えはありませんが、整備における必要な視点に、高齢者の居場所づくりや、アクティブシニアの活力を活かすしくみづくりなど“交流と支えあいの場づくり”を挙げており、高齢者の生きがいや活力につなげたいと考えます。「図書室」については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 新図書館はラピオを希望します。 子ども未来かんは郊外で広い場所で自由に元気よく遊んだ方がいいし、反対します。 そんなに高い税金を使わないでもっと地域の事に使って下さい。二重掘の近辺を歩くと用水路がきたないです。 	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。</p>
6	<p>子供未来館は土・日は人がくるが、月～金は人が数少ないと思う！ 月～金は大人が入れる遊具等を作ると一週間の入園者が多くなると思う。 今の計画はムリがあると思う！</p>	<p>平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p> <p>大人が利用できる遊具などについて、具体的な遊具等の導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p>
7	<p>「子ども未来館構想」を見ましたが、まだ全体の構想出来あがっていない。(空間あり) 大型遊具が入って吹き抜けにしたら現在の「子供図書館」の静かな場所が保たれなくなりますよネ！！ 同じ図書館を入れる方が、金額的にも助かり静かな場が保たれると思います。 税金の使い方を考て、大くの市民の為に使ってほしいです。</p>	<p>基本構想(案)に対するパブリックコメントの意見等も踏まえ基本構想を策定し、それをもとに今後具体的な設計を進めていきます。</p> <p>「えほん図書館」については、隣接する「子育て広場」とあわせて「えほん広場」として、親子が気兼ねなく過ごせる場として整備しております。具体的な吹き抜け箇所等については、今後設計を進める過程において、改めて精査していきますが、引き続き親子が気兼ねなく過ごせる場として整備を進めていきたいと考えています。</p>
8	<p>各地区の児童館の拡充をはかることを第一に考えて、小牧市の中心に子ども未来館をつくることをしないでください。 ラピオ等の既存施設利用して新しい図書館をつくってほしい。</p>	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、他の児童館の充実を図っていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
9	<p>小牧市こども未来館の整備に反対です！そもそも市長は就任初年度の総務委員会で「子供たちを商業施設に通わせるのは、健全育成に問題がある」と主張して、図書館のラピオ移転を市民の意見聞かない公約違反のまま潰しておいて、今度は一転「ラピオの中に子ども関連施設を作る」と言うのは、まったく矛盾しています！</p> <p>また図書館問題に関して、まだ市民に建設地に関して一切聞かない公約違反のまま、市民の理解や了解得ぬまま、自分たちで集めた大学関係者や市民団体関係者(しかもこれらの人物は、図書館の会の方の「市民の意見をきちんと聞くべきだ!」と言う意見を2度に渡って退け、予算が組んであった市民アンケートも行わず、挙句の果てには図書館の会の方に暴言を繰り返すなど、極めて悪質な人物)のわずか10数名の意見だけを採用し、「審議会で多数だった」と称して、99.99%の市民から意見をまったく聞かず、A街区建設を進めている状態。こんな露骨に不誠実で悪質なやり方はあり得ないし、許せないです！！そんな市民の意見をまったく聞かないままのA街区図書館建設は、繰り返しになりますが明らかに「市民の意見聞く(反映させる)」とした公約違反であり、図書館移転候補地として有力なラピオに他の施設を整備することは、市民に対し露骨に不誠実な行為であり、背信行為でありえない！！</p> <p>さらに市長が進めるA街区図書館は建設費用が約46億円と、ツタヤ図書館とほぼ同額であること自体許しがたいことですが、それに加え小牧市こども未来館の建設費用を合わせると約70億円になり、これは巨額の建設費用が問題とされた住民投票結果もパブリック・コメントの結果も完全に無視しており、ありえないです！！</p> <p>ラピオ移転なら11億円で済みますし、ラピオ空床問題も解決します！何より市民の多くがこれを望んでいます。きちんと図書館の建設地に関して、市民の意見を聞いて下さい！！約束したのは、市長なんですから！！それが成されない限り、このような施設の整備には反対です！！さらにこのような施設が小牧市内に必要であるとも、まったく思えません！！子ども関連の児童施設(児童館ほか)はすでに市内に多数あり、必要十分といった状況。小牧駅近くにも中部公民館に児童センターがあります！おまけにどの施設も、利用率はさほど高くないでしょう。となれば、今後人口減少によって利用者は確実に減ります！総務省の調査では、この地域は2050年に現在の80%ほどの人口になると予想されており、子どもの数の減少率はさらに大きいでしょう。利用者自体減っていき、かつ市内にすでに十分施設があるのに新たな施設を整備するのは、まったくもっておかしいし、そもそも整備する理由が何もありません！！</p> <p>加えてこのような施設を仮に整備するとしても、ラピオはまったく向いていません！ラピオ周辺は子供の数が多い訳でもなく、子育てに向いてる地域でもなく、今後子育て世代が増える地域でもないのです。このような施設を整備するなら、まだ桃花台のアピタや、市役所に隣接するアピタ小牧店、さらにイオン小牧店の方が向いているでしょう。桃花台はもともと小さい子供たちの子育てには向いている地域であり、以前は子供たちがたくさんいましたから。さらにアピタ桃花台店には多数の空床ができていますので、その空床対策にもなるでしょう。またアピタ小牧店やイオン小牧店は、両方とも子供連れの若い人たちがラピオと比べ非常に多く、そう言った点で適してると言えるでしょう。すでにターゲットとする層の人たちが、多く訪れてるのですから。</p> <p>さらにこれら3つの施設はいずれも、無料でかつ利用しやすい大きな駐車場があるので、施設周辺地域以外からの人も非常に利用しやすいです。それに対しラピオの駐車場は基本有料で、おまけに地下駐車場は出入りしにくく、停車もしにくく、使いにくい！施設周辺以外から車で訪れるのは、不便な施設でもあります。となれば、実質利用者は施設周辺に限られてしまう。この点でもラピオに作る理由がありません！！</p> <p>また、人口が減ると言うことは、同様の施設間での競争がより厳しくなるということでもあります。少なくなっていくパイを奪い合う訳ですから。にも関わらず、ラピオのような元々向いてない場所に、巨額費用を投じて建設するなど、ありえない！！これは露骨に図書館作らせないための口実に過ぎず、その点でも不適切！！</p>	<p>現在、市内の児童館は、概ね中学校区にひとつ設置しており(8館)、利用者数は年々増加しております。</p> <p>また、ラピオ周辺を学区とする小中学校の児童・生徒数は、今後も増加することが見込まれています。</p> <p>そうした中、中部公民館内の「児童センター」は、利用が増える中で狭隘化や多様化する中高生のニーズに十分応えられていないということが課題となっていたため、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。したがって、本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を中部公民館からラピオへ移転し、機能を拡充するものであり、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
10	<p>こども未来館について 今月の広報を見ておどろきました！どうゆうことですか。 ラピオビルの改造のあとは、図書館と各種小ホール、展示場を作ってほしい。 ・(展示場について)現在5Fの廊下を利用していますが、いつもいっぱい ・小牧には展示場が少ないと思います</p>	<p>本意見は、氏名が未記入であり要件を満たしていないため、意見として取り扱わないこととさせていただきます。</p>
11	<p>ラピオ内に作る必要が有るのか？ 有料にする様ですが、だれもが行けるもっと気軽に子供同志が連れだっていける所、施設が各地区に作っていただける方が良い。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。 本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能の拡充をするものです。これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実を図っていきます。</p>
12	<p>・遊び場は良いと思いますが、有料だと気軽に遊びにくることが出来ないと思います。 ・絵本図書館があるので図書館も同じ所があれば大人も子どもと一緒に楽しめると思いますので、ぜひ図書館を入れて下さい。</p>	<p>本意見は、氏名が未記入であり要件を満たしていないため、意見として取り扱わないこととさせていただきます。</p>
13	<p>3年半前の住民投票で決まった事実は何だったのでしょうか？その後の審議会でも市民の声が届いていたのでしょうか？ ラピオでのこども未来館は有料だと聞きましたが、そんな所に親が連れていくとは思えません。もっと有意義な市民が使えるように考え直して下さい。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。 整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>
14	<p>子供達にお金を使わせるのは心ぐるしいです。税金の使い方を市民の全体で使う事に考えて下さい。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
15	<p>有料で子供施設を作って利用者が集まるでしょうか。税金のむだ使いはやめて下さい。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
16	<p>未来館を作っても、子供だけでは行けないので親が付いて行かなければならないが共働き家庭が多いご事勢必要無いと思う。</p>	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」の移転であることから、現在と同じく、小中学生、高校生等については児童だけでも来館が可能です。(乳幼児については親子での来館となります) また、中央児童館としての機能の拡充により、これまで以上にその役割を果たすことで、こども未来館のみならず、他の児童館の充実も図っていきます。</p>
17	<p>思いつきの計画は反対です。本当に市民の声を聞いた政策をお願いします。 派手なことではなく、福祉など社会的弱者の立場になっているいろいろと考えてほしいです。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
18	<p>ラピオの空床の活用は長期的展望に立ち計画すべき極めて重要な課題である。小牧市再開発ビルとしてオープンしたラピオは、相次ぐキーテナントの撤退で、もはや商業ビルとしては成り立たず公共施設として活用せざるを得なくなった。再開発ビルラピオの採算を合わせるためにはテナントの収入がない限り、税金の投入が余儀なくされる。</p> <p>1. その視点から、仮称・こども未来館の基本構想を見ると、事業費は24億円と書いてあるが運営面で収益事業なのか明確になっていない。子育て包括支援センターや中央児童センターは無料と思うが、アスレチックなど大型遊具施設は有料とある。収益事業ならば料金設定や需要予測が必要である。採算性を求める施設かどうかをはっきりさせ市民に意見を求めるべきである。</p> <p>2. ワークショップが実施されたとあるが、延べ参加人数は104人である。中高生アンケートでボルダリングやトランポリンなどアスレチック系遊具が上位にあり導入されている。そのために巨費をかけ床や壁の大改造をする。先に指摘したラピオの性質を考慮し、長期的展望に立った計画とは思えない杜撰さである。(但し、子育て支援の拠点エリアについては、市民の必要性に基づいた計画だと思う)</p> <p>こどもが主役となる拠点は、必要性が疑問である。小中高生の利用は土日や長期休暇中は見込めても平日は見込めない。児童館は中学校区にひとつあるがこどもが自分で行ける距離にあることが望ましい。広範な市民の聞き取りを十分に行い、本当に必要なものを精査すべきと思う。</p> <p>3. 三位一体で駅周辺を活性化するという大事業であり、仮称・こども未来館はその一つであるにも拘わらず市民に情報が少なすぎ殆どの市民は知らない。広報に内容を掲載したり、市民に説明会をしてほしい。</p> <p>4. 3階を先行して工事するのはストップし、仮称・こども未来館の全体構想がまとまってから工事に着手するのが正常な形である。時間をかけて悔いの残らない計画を練り上げ、それから着手すべきである。</p> <p>5. 子育て支援の拠点は4階にまとめることを提案します。絵本図書館もあるので合理的だと思います。2～3階は大人の図書館フロアに活用すれば、新築部分を減らすことができ図書館の維持費も減らせます。仮称・こども未来館で収益を生み出すことが無理だとすれば、ラピオの運営には税金を投入するしかありません。その金額が毎年どれだけになるのかわからない。将来に責任を持てる計画とは到底思えません。</p>	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」の機能の拡充に伴う移転による児童福祉施設であることから、収益性や採算性を求める施設ではありません。</p> <p>利用料金について、原則無料と考えており、収益事業ではありませんが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>ワークショップについては、同じ参加者でステップアップするテーマで議論を深めてもらうために少人数での実施とさせていただきますが、あわせて、市内8館の児童館および中央子育て支援センターにおいて、利用する小中高生や保護者にアンケートを実施し、要望やニーズの把握に努めました。導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、前述のアンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>平日の利用については、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。また、情報発や新しい遊びの提供など、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館を牽引していきます。</p> <p>本事業の周知について、個別の説明会の実施は考えておりませんが、事業の進捗状況については、広報やホームページ等により適宜市民の皆様にお知らせしていきます。</p> <p>「子育て支援の拠点」として3階に整備する「子育て世代包括支援センター」については、妊娠・出産・育児期にわたり切れ目のない支援を行うワンストップ窓口として、当初より、えほん図書館直下に整備し、それ以外のエリアには「こどもが主役となる拠点」を計画することとしております。「子育て支援の拠点」と「こどもが主役となる拠点」とが互いに連携することは当然のことであり、全体構想のとりまとめに影響はないと考えております。また、4階につきましては、ご指摘のとおり、既存の「えほん図書館との連携を踏まえ、幼児を主な対象とした整備を検討していきます。</p>
19	<p>子どものことにお金を使うのはいいと思いますが、大型遊具、それも有料でというのは賛同できません。利用率どのくらいか試算を示して下さい。</p> <p>A街区図書館、ラピオ改築、財政はどのようになっていますか。大々的な工事を伴うような施設は必要ありません。</p> <p>保育士を増やすとか、民間委託はやめるとか、学童保育の充実とか、学校給食を無料にするとか地道なことを充実させて下さい。</p> <p>ラピオに24億投資して、こども未来館は反対です。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>利用率について、今後設計を進める過程において、各諸室やコンテンツ等の適切な利用人数等を算出していくため、現段階で試算はできませんが、多くの方に繰り返し利用される施設としていきます。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
20	<p>小牧市も全国と同じ傾向の少子化が現実となり、団塊の世代の50%にも満たない子どもの数が現実です。国では一億総活躍社会を打ち上げています。</p> <p>総労働人口を確保する為に長寿命化に合わせて。年金の受給を繰り延べて受給年齢を70歳以上にすると割増を付ける事で、高齢者も生涯現役の時代になろうとしているのが現状である。</p> <p>一方では、女性の活躍する社会を目指して、男女共同参画社会の構築が喫緊の課題である。</p> <p>その為に、待機児童を解消する事を目指して保育園の整備、小規模保育所の整備を消費税の一部を財源にするとお聞きしています又保育士の賃金を引き上げ労働環境の整備に政府も本気になって着手している。</p> <p>さて、子ども未来館構想は、ゆとり教育の時代でもリピータの確保が難しいと考える。</p> <p>平日の昼間の時間帯を見てみると、幼児は保育所・生徒は小学校からの英語教育が必修となり学校が終わると学習塾へ直行するのが現状である。</p> <p>この子ども未来館の計画にある、テーマパーク的な整備は官が手掛けるものではない。テーマパークは全国を見ても廃止を余儀なくされているのが現状。</p> <p>すでに、市内では大型店の中にボールプール、又ボルダリングの民間施設も整備されているとお聞きしています。税金を払っていただける民業圧迫の計画は止めるべきだ。構想の中の緑が欲しければ、公園で遊ぶことで体力の向上を目指すのが良い。構想を見てみると、有料施設床と商業床の混合、官の子育世代包括支援センター・少年センターの混合床、えほん図書館と有料施設の混合床の同居は騒音の問題が発生する。急いで2～4階を摘み食いした構想は理解できない。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、児童の健全育成はもちろん、遊びや体験を通じて学びのきっかけを得る場として整備するものです。</p> <p>「えほん図書館」については、隣接する「子育て広場」とあわせて「えほん広場」として、親子が気兼ねなく過ごせる場として整備しております。具体的な吹き抜け箇所等については、今後設計を進める過程において、改めて精査していきますが、引き続き親子が気兼ねなく過ごせる場として整備を進めていきたいと考えています。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> ・年令横断的な子育て支援施設はとでも求められているものだと思いますが、折角、既存のラピオの施設を使うのだから、わざわざ壁面を取り払ったり、2ヶ所もエレベーターを撤去したり改築費が高額になる工事をする必要まであるのかと疑問に思いました。 ・有料施設はごく限定的にするべきでは？と思いました。有料施設が主体では子育て中のお母さんは魅力を感じられないと思います。 ・施設は出来てからの運営が何より重要なので、市主体で運営されるべきではないでしょうか。 	<p>本施設の改修にあたり、壁面を取り払う等の外壁改修は行いません。</p> <p>児童福祉施設として、自然採光や開放感のある空間を整備するため、エスカレーター撤去も含めた改修を検討しておりますが、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>今回の整備にあたり移転する「児童センター」の運営は市直営となっており、今後も市が主体的に運営に携わっていきたくと考えておりますが、機能強化に伴い、これまで以上に様々な分野の事業に力を入れていくことが求められていることから、導入する設備や活動によっては専門分野の一部委託や指定管理者の導入なども、今後設計の過程において具体的に検討していきます。</p>
22	<p>2/25に初めてこの計画を知り非常にびっくりしました。と共に下記理由等により反対致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ラピオの建物は、そんな頑丈な建造物に思えません。改造して新たに付加することは考え難い。ましてや床を吹き抜けにしての改造案を聞き、長く続かない場合、元に戻すことも出来ず、へたすると建物全体が死んでしまいます。ピーチライナーの二の舞にならなければよいがと県念します。 2. “こども未来館”と名前はカッコいいですが、人口減少が叫ばれる中、こどもも減少してきます。体をつかって遊び・学ぶ施設はどこか私設のアミューズメント施設の枠を出ていません。長く継続されるとは思えません。又、さらに有料にするということですが疑問です。 3. こどもの施設は各地域にある児童館を中心にさらに充実をはかるべきである。又、アウトドアとして公園等の付加充実をはかるべきである。 	<p>吹き抜けの検討にあたっては、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。また、改修について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p> <p>本施設は「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、児童の健全育成はもちろん、遊びや体験を通じて学びのきっかけを得る場として整備するものです。利用料金についても、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>また、中央児童館としての機能拡充により、これまで以上にその役割を果たすことで、他の児童館の充実も図っていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
23	<p>こども未来館は必要ありません</p> <p>1. 平日子供達は幼稚園、学校等で時間を過ごし、週末か休みの時しか利用しません。それも料金がかかるのではお金の無い子供は行けません。子供の差別になるのではありませんか。無料で誰でも利用出来るそんな施設がほしいです。</p> <p>2. 建物が吹抜けとか、えほん図書館等他の利用者にとっては騒音が気になります。又、火災発生時吹抜けが煙突となり危険になるのでは。冷暖房等の維持費も高額になるのでは。</p> <p>3. 高額な大改造で作るのに用途が固定。運営が危惧されるだけに変更出来ない構造に疑問がある。</p>	<p>平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。また、同じく整備における必要な視点のひとつに、こどもの貧困など課題を抱えた利用者が安心して利用できるよう、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>「えほん図書館」については、隣接する「子育て広場」とあわせて「えほん広場」として、親子が気兼ねなく過ごせる場として整備しております。具体的な吹き抜け箇所等については、今後設計を進める過程において、改めて精査していきますが、引き続き親子が気兼ねなく過ごせる場として整備を進めていきたいと考えています。また、吹き抜けの検討について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。防火対策につきましても、現行基準に則り必要な器具や設備を設置し、利用者が安全安心に利用できるよう整備します。</p> <p>維持管理費や改修について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
24	<ul style="list-style-type: none"> ・有料の遊び場は必要なのでしょうか？ ・平日は幼稚園、保育園、小学生などは来ません。とてもにぎわいを作り出せるようなものではないと思います。 ・税金はもっと違う事に使ってほしいです。 ・学童保育は親たちの要求が多く、とても助かっていますが、部屋が狭い、保育料も2人目以降の減免がない等々入れない(入れれない)状況もある様です。 ・保育園もリズム室まで教室になっていて、行事がある度にホールに変更するなど、子ども達も先生達も大変です。 ・せっかくラピオに子ども図書館があるのなら、大人の図書館も入れて欲しいです。 <p>何より税金は広く市民の要求に合わせて使い、計画もして下さい。 床の一部撤去、開口部設置などは耐震なども心配です。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p> <p>改修について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。また、開口部設置など外壁の改修は行いません。</p>
25	<p>現在4階の絵本図書館は好評判です。それは無料だからだと思います。 あちこちのテーマパークがつぶれています。有料の未来館は必ず失敗します。ましてや建物を大改造するなんて弱体化します。有料の2・3階を通過して4階の無料へ絵本図書館にも行きにくくなります。 ラピオは佐橋市政の負の遺産です。うわぬりはやめて下さい。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>改修について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
26	<p>場所の入れ替えが自然！A街区にこども未来館とB街区に図書館！ 私は区長・民生児童委員として、少しでも地域の役に立てるようにと、障害者作業施設や小規模保育所に、不動産を賃貸で提供しています。新年度早々に開園する予定の小規模保育所にも無事開園できるようにと支援をしています。 この度、素敵なかども未来館の構想があることを知り、一言意見を述べて、是非、そうしていただきたいと思う次第です。 こども未来館に関連して、小牧「市立」小規模保育所開設が計画されているとのこと。事業を「市立」で行うことができるなら、15前後ある民間小規模保育所にも「市立」に勝るとも劣らない「保育の質」を確保できるよう保育士にも「乳幼児の正常な発達を担保できる」支援が欲しい。 こども未来館もそういう乳児・幼児・子供の正常な発達を担保できる施設になるよう場所と設備と人を配置していただきたい。ラピオに押し込んで、「もやしっ子」を育てるなどもってのほかです。陽の当たる開放的な公共空間を確保して、子供達の心身ともに健全な人間発達を促せるような施策をお願いしたい。図書館を入れるなら暗いラピオの中でも十分許容できると思います。ぜひ、A・B街区で施設の入れ替えを！</p>	<p>本施設は「児童センター」の移転による児童福祉施設として、児童に健全な遊びを与え、その健康の増進や、情操を豊かにする目的、これからの小牧のこども達の未来を見据え、必要な設備や適切な人員配置に努めます。 また、既存施設の環境改善として、既存の開口部を最大限活かし、自然光の採光や、吹き抜けの設置により開放的な空間づくりを創出していきます。</p>
27	<p>子ども未来館、誰が言い出したか知りませんが、この基本構想策定に2,000万円近く注ぎ込んでから、パブリックコメント、順番が逆ではないかと思えます。まず、市民に意見を聞くための説明会を各地区で開催すべきだと思います。市民の意見を聞かない計画(小牧ツタヤ図書館、農業公園計画、ピーチライナー等)でいままでいくら税金をドブに捨てたのでしょうか。きちんと反省してください。</p>	<p>本事業について、個別の説明会の実施は考えておりませんが、事業の進捗状況については、広報やホームページ等により適宜市民の皆様にお知らせしていきます。</p>
28	<p>ラピオの商業スペースが空いて、突然の“こども未来館整備”計画には大変驚いています。 以前、農業公園の計画が立てられました。 子育て世代に聞くと“高い入場料を払って誰が行くの！！”の声が多くありました。 この度の計画は、今、少子高齢化時代と盛んに云われている時、逆行するものと考えます。 高額な改築費に加え、維持費も大きな負担となり、将来にかかってきます。 子育て支援の拠点とするならば、今のままで十分使用可能と思います。 お金が払える人達のアミューズメント施設より、恵まれない人達に目を向けるのが公の仕事というものでしょう。 小牧の発展を望む者として、将来に大きなツケを残すこの計画はとても危ういものと考え、撤回を要求します。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。したがって、本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものであり、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。 施設内部の改修方針における室内環境の改善について、現在の閉鎖的な印象が強い空間から、明るく開放的な空間とすることとしており、こども向け施設として、必要な改修は実施したいと考えておりますが、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。 恵まれない人達に目を向けるべきとのご指摘について、整備における必要な視点において、こどもの貧困や障がい、言語や文化の違いなど様々な課題を抱えた利用者でも安心して利用できるような、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。また、利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
29	<p>私は、現在春日井市に住んでいますが、小牧で生まれ育ちました。 実家が小牧にあり、今でも「えほん図書館」「子育て広場」を利用させていただいています。 ラピオの2・3階等に有料の遊び場施設ができれば、子どもを連れて「えほん図書館」「子育て広場」にも行けなくなると思えます。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
30	<p>市営のアミューズメント施設「子ども未来館」はいりません。</p> <p>市長の思いつき？ 第六次総合計画にもない24億円もの血税が使われる計画に反対します。「ラピオ」は図書館利用して、A街区へ新図書館が建設されることに反対です。</p> <p>“ラピオ大改造”いよいよ図書館計画に向け、内改造することになったかと思いましたが、エッ！「子ども未来館」ですか？どんな内容か調べてみると、山下史守朗市長の無謀な計画に思われて……。築24年経過している建物に、24億円もの血税使って大改造するなど大意に不安を覚えます。</p> <p>駅前周辺のにぎわいを重視する山下史守朗市長の無理な計画です。2015年10月住民投票で山下史守朗市長の駅西市有地A街区に新図書館を建設する計画は、市民の反対票で白紙に戻されました。ラピオには絵本図書館もあり、効果的に活用するには最適であるとの思いを深めるばかりです。「子ども未来館」はいりません。A街区に新図書館建設反対です。「ラピオ」を本館と共に図書館にして、市民の要望を実現してください。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
31	<p>「子ども未来館」ネーミングは良いのですが、空洞化したラピオ内に図書館を入れない為の策の様に思えます。</p> <p>なぜ急に今ここに「子ども未来館」？市民に納得出来る説明がなされていないです。</p> <p>第1 「ラピオは商業施設だから図書館は入れない」と言う答弁は成立しないと思います。</p> <p>第2 建物のリメイクは建てるより高く付きます。</p> <p>第3 流行物に安易に飛び付くのは危険です(ボルダリングー適切な指導者、装具etc事故に！)</p> <p>市税の使い方にもっと厳しい市政行政であるべきではないでしょうか？</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p> <p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p>
32	<p>・図書館に46億？さらに(仮)こども未来館に24億？こんなに税金を使ってやるべき事業なのか疑問です。</p> <p>特に未来館は本当に子ども達が利用しやすいものか疑問です。</p> <p>歩いて通える距離に子ども達が安心できる居場所(児童館など)をたくさん作るの方が必要ではないかと思えます。</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p> <p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、他の児童館の充実も図っていきます。</p>
33	<p>あえて、ここに整備する理由がないと思う。</p> <p>既存の児童館等の整備を促進すればよい。</p> <p>又、入場料等の有料化をすることですが、これは本末転倒ではないだろうか。子供のためにと考えて整備したものが有料化により、来館できなくなる子供がでてくると考えられる。図書館を新築しないでこの場所に入れてはどうか？</p> <p>市財政が豊かだと思って無駄遣いしないでいただきたい。</p>	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、他の児童館の充実も図っていきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
34	<p>・子どもたちがいきいきと活動したり、新しいものに挑戦できる場所を提供できることは素晴らしいことですが、有料で利用させることには考えさせられます。もっと教育や子育てに支援する姿勢を期待します。</p> <p>・子どもから高齢者まで幅広い世代に利用できるようラピオビルを活用してほしいと思います。そのためにも図書館が一番適当と思われませんが…。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であり、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
35	<p>子どもの貧困が問題になっています。小牧駅前の有料施設ではなく、子どもが歩いて行ける場所に無料の地域の児童館等を充実してください。</p> <p>『想像してごらん』子どもを連れこども未来館のあるラピオへ ①自転車を置いて1階に行きます。 フードコートで子どもが冷たいジュースを飲みたいと言い出すが無視 ②エスカレーターで2階に行きます。 他の子どもがボルダリングしているのを見て、やりたいと言い出すが無視 ③エスカレーターで3階に行きます。 他の子どもがボールプールで遊んでいるのを見てやりたいと言い出すが無視 ④エスカレーターで4階に行きます。 無料の「えほん図書館」吹き抜けを通して2.3階の子ども達の声が騒音に聞こえます。アンパンマンの滑り台があった無料の子育て広場は撤去され、無くなっている。もう帰ろう。 ⑤帰りは、ちっともこないエレベーターで一階へ直行！</p>	<p>こどもの貧困については、整備における必要な視点のひとつでも、貧困や障がい、言語や文化の違いなど様々な課題を抱えた利用者でも安心して利用できるよう、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>また、中央児童館としての機能拡充により、これまで以上にその役割を果たすことで、こども未来館のみならず、他の児童館の充実も図っていきます。</p>
36	<p>・ラピオにはやはり図書館を入れてほしいと思います。 ・市の基本構想(案)に目を通しましたが、市が何をしたいのか見えて来ません。 ・子どもや若者が集うことが出来る場合は必要かとは思いますが、今出ている案の中には市が関わるような事かな？と思われるような物も見つけられます。 市は住民サービスを一番に考えて企画されますが、企業は利益が一番の企画を立てます。これが一緒に計画を進める事は、とても難しいと思います。市が指導権を持って作っても運営についてなどゆがみも出てくるかと思えます。 見た目より内容を重視し、もっと地に足を着けた計画を立ててください。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>運営について、今回の整備にあたり移転する「児童センター」の運営は市直営となっており、今後も市が主体的に運営に携わっていきたくと考えておりますが、機能強化に伴い、これまで以上に様々な分野の事業に力を入れていくことが求められていることから、導入する設備や活動によっては専門分野の一部委託や指定管理者の導入なども、今後設計の過程において具体的に検討していきます。</p>
37	<p>①子ども未来館は子どもたちにとって本当に必要な施設なんでしょうか。商業施設にあるようなボールプール、トランポリン、ネット遊具などをつくり、しかも有料サービスを検討していて、ほんとうに子供たちの為になるとは思えません。どうしてこのような計画がでてきたのか全く理解できません。 ②南側の壁面をガラス張りにしたり、吹き抜けにしたりすることによって耐震強度も弱められるし、管理費も一層高額になることは明らかです。 ③2階の3/4をテナント募集するとありますが、今でも空床が多い現状で又空床が増加するという危機感はないのですか。 以上の点で今般の子ども未来館建設は絶対に反対です。50億円近い新図書館建設とこの24億円の未来館建設とどこまで箱物をつくっていく気ですか。もっとお金をかけなければいけないところは山ほどあるはずです。この2ヶ所の建設の変わりにラピオに図書館をつくれれば50億以上の節約になります。ほんとうに必要なところに税金が使われるよう行政も市民もしっかりと考えていくことの方が大切だと思います。もう今の時代は箱物なんていらぬです。もっと税金は市民の為に使うべきだと思います。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p> <p>南側壁面改修について、外壁等躯体の改修は行いません。現在、ラピオの南側壁面はガラス張りとなっておりますが、店舗利用の際、商品の品質維持等のために簡易な壁で塞いでいます。この壁面を撤去することで自然光を取り入れ、居心地の良い空間づくりをしていきます。</p> <p>吹き抜けの検討について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
38	<p>子ども未来館はいつ、どこで、誰が、どんな審議会を通して構想が決定したのか市民に伝わってこない、平和堂が撤退した1・2階、ファニチャードームの撤退した3・4階。そもそもこのラピオは第一義的には商業床で商業ビルと言ったのは現職の山下市長である。</p> <p>全国的に稀れなツタヤ図書館建設の基本計画の段階で設計図を見て奇想天外と思える図書館、さらに建設費が問題となり住民投票となり、市民はNOの結果を出した。この事により、有識者や住民による図書館建設審議会を設置しその中で建設場所は激論が交わされ、建設位置はA街区、ラピオ(既にこの時点で平和堂の撤退が検討され最終段階に来ていた)、現図書館と3つの位置が併記され審議会が答申した。しかし小牧市議会は答申を軽んじて、A街区ありきで基本設計を進めている。ラピオは、基本コンセプトはライフ、ピープル、オアシスで市民・人々が安らぐ場所である。小牧市は政令市の半分の15万人、最近小牧は1年齢人口1,100人とさらに減少が続く。テーマパークは民間が考える事業だ。ラピオを再構築するためにも、子ども未来館は止めるべきである。活用方法として図書館がベストである、さらに私案の一部を示せば</p> <p>①小牧市に未整備な郷土資料館(小牧山の資料館とは別) 郷土の歴史の深堀する、農機具、祭りの道具、衣服等も一例とする。</p> <p>②センターモールで趣味の発表の場も有るが常設の展示スペースを作る。 ゆっくりと、展示作品に触れる場所。</p> <p>③高齢者のふれあいサロン(中央サロンの位置づけ)全世代型の福祉のセンターの役割を担う。子どもの中央児童館と対極の高齢者のサロン、生涯学習センター等、全世代型のふれあい、交流の場として整備する。</p> <p>24億円の事業費案が示されている、子ども未来館、先ず待機児童の解消、貧困格差の是正の学習指導、食の提供の場を作るのが先決である。</p>	<p>整備における必要な視点に、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。また、居場所づくりだけでなく、アクティビシアの活力を活かすしくみづくりなど“交流と支えあいの場づくり”を挙げており、ご提案の全世代型のふれあい、交流の場として活用していきたいと考えております。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
39	<p>ラピオに「子ども未来館」はおかしい！市長は税金をムダづかいしないでほしい！ 市民がどんな生活を、税金を納めているのかよく考え、市民の血税を1円たりともムダに使ってはならない。こどもの事を考えているというポーズはしらじらしい。</p> <p>私は「子ども達に」よりよい保育と願って、長いこと保育問題にとりくんで来た。勝手に保育園を統はいごうして、こんどは民間になげ出す。子どもが溢れ出したら正義のみかたのようなふりをして「子ども未来館」。やる事がおかしすぎる。</p> <p>24億使えるお金があるならば、公立の保育園をつくり、子ども達によりよい保育をしてほしい。オリンピックではないが、人間としての心の金メダルをもった、小牧の子ども達が多く育成出来たらなんて素晴らしい事だろう。</p> <p>又、現在の所で本館図書館をたてなおしてもらえないのであれば、ぜひラピオに市民のための図書館をつくってほしい。</p> <p>血税を大切に、小牧を市民として、ほこれる市にしてほしい。</p> <p>本当に市民が喜ぶ施設であれば、なっとく行くものであれば誰も反対はしない。それどころか応援団となって協力するだろう。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
40	<p>ラピオを子供未来館はおかしい。</p> <p>もっとのびのびとできるところで自然のなかで子育てできるようにすべき。</p> <p>今更駅前に図書館建設はダメ。自分の金なら市長は好きなようにすればよいが・・・</p> <p>税金を使ういじょう、最小限の費用で最大の効果をあげる事を考えれば、現在の図書館を改修したりラピオに図書館を入れるなどして・・・</p> <p>身近な場所にいくつもの分室をもうけて、住民が気軽に利用できるように。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
41	<p>1. 市民の声を無視し続ける山下市長の構想には反対です 子供のための施設は大切ですが、駅前の超一等地を利用して建設するとは、集客力として力不足であると考えます。</p> <p>2. ばく大な経費を投入して建設し運営するは外部民間だと思うが、それで適正な運営ができるのか、市民自身の将来構想にどのようなものがあるのか疑問</p> <p>3. 市議会はどのように考えているのか。「右向けハイ」「左向けハイ」では何のための議会なのか</p> <p>4. 過去の為政者の構想。レールを敷いていった構想を感情的にことごとくぶちこわそうとしている姿を私のみならず多数の市民は感じている。誰のアドバイスで動いているのか。</p>	<p>小牧駅周辺という立地環境を最大限に活かし、同じく小牧駅周辺に整備される新小牧市立図書館や駅前広場との連携および相乗効果により、市内外から多くの方に繰り返し訪れていただける魅力ある施設となるよう整備していきます。</p> <p>運営について、今回の整備にあたり移転する「児童センター」の運営は市直営となっており、今後も市が主体的に運営に携わっていきたいと考えておりますが、機能強化に伴い、これまで以上に様々な分野の事業に力を入れていくことが求められていることから、導入する設備や活動によっては専門分野の一部委託や指定管理者の導入なども、今後設計の過程において具体的に検討していきます。</p>
42	<p>A街区への図書館建設に加え、ラピオに新たに24億円もの市税を投入することは、税金の大きい無駄遣いだと思い、反対します。</p> <p>そもそも、子ども未来館構想は市の『第6次小牧市総合計画』にもなかったもので、昨年2月27日山下市長自ら行った市議会での『平成29年度施政方針』でも触れられていなかったと聞きます。これでは、「子ども未来館基本構想(案)」が思いつき政策であると批判されても当然です。</p> <p>先きの住民投票で示されたように市民の思いは「無駄遣いNO!!」です。ラピオの空床には図書館を入れる等、税金の有意義な使い方を要望します。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、子どもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p> <p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
43	<p>子ども未来館の構想の主旨とは？ その構想の目的、対象の年齢層も不明で、駅前に公共施設を整備すること自体、24億の税を懸けて、改造する費用対効果はどの様であるか？ 将来小子化が進み、利用者が減少した場合、テナント料の収入と異なり、その経費が市の財政を圧迫するのではないのでしょうか。 駅前に人が集まる環境造りを図書館と共に再考察されたい。 我々の納得のいく税の遣い道を考えてもらいたい。</p>	<p>本構想(案)の主旨としては、(仮称)小牧市子ども未来館が、子どもが主役となる拠点として、また、本市の子育て支援の中核施設として、子育て支援の推進を図ることを目的とし、既存機能の移転や拡充にとどまることなく、小牧駅前という立地環境を最大限に活かすほか、同じく小牧駅周辺に整備される新小牧市立図書館や駅前広場との連携や相乗効果など、世代を越えた人々の交流が生まれる居場所づくりとなるよう、基本理念や求められる機能や役割等、今後の施設整備の方針を示すことです。</p> <p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものであるため、基本的に18歳までの子どもを対象とした施設であります。整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p> <p>前述のとおり、児童福祉施設であることから、採算性を求めるものではないため、費用対効果として、具体的に示すことは難しいですが、施設コンセプトに掲げる、子どものやりたいことの発見や夢への挑戦、地域全体の子育てや地域の活性化、子育て世代の定住化などが、本施設により促進されることを期待しています。</p> <p>少子化により子どもの数が減少しても、子育てや子どもの活動に対する支援は変わることなく実施すべきと考えますが、前述のとおり、子どもだけでなく世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間とすることで、親から子、子から孫へと同じ空間で思い出を積み重ね、利用者の成長と共にいつまでも繰り返し利用される施設としていきます。また、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
44	<p>人が箱物で集うなんて長続きすると思いますか？ 子どもの貧困は、小牧市も深刻ですヨネ。 子どもの貧困は、親の貧困があるからですヨネ？ お金を持っていないんです。 なのに、有料なんですか？小牧市は、広いです。 子どもは、親の運転で、親がかりで、ラピオに来るしかないです。 仕事で忙しくて、どうやって来れるのですか？ 学校があるウィークディは、この子ども未来館はどうするのですか？ 一点集中の施設より、地域分散型施設の方が子どもたちには、必要です。 お金を使わず、徒歩や自転車で行けるぐらいの地域の施設の充実することこそ急務では、ありませんか？ 子どもの体力が、衰えて来ています。姿勢もよくありません。 今のラピオは、耐震は、とてもよいと聞いていますが、2Fと3Fをぶち抜いて耐震は、大丈夫ですか？とても心配です。もっともっと説明して下さい。 新図書館をラピオに入れたくないから、つけ焼き刃的に子ども未来館を導入するのではないかと感じてしまうのは、私だけでしょうか。</p>	<p>こどもの貧困については、整備における必要な視点のひとつでも、こどもの貧困や障がい、言語や文化の違いなど課題を抱えた利用者でも安心して利用できるよう、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。また、利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。 本施設は、「児童センター」の機能拡充に伴う移転でありますので、現在と同じく、小中学生、高校生等については児童だけでも来館が可能です。(乳幼児については親子での来館となります) また、中央児童館としての機能拡充により、これまで以上にその役割を果たすことで、こども未来館のみならず、地域の児童館の充実も図っていきます。 吹き抜けの検討について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。</p>
45	<p>・図書館の利用に年齢制限はないが、大型遊具は年齢制限のある物も少なくなく、親の目が行き届きにくい。 ・有料という点から、気軽に足を運べる施設でなくなってしまう可能性がある。 ・トランポリンやボルダリングなど一時点なブームのような気がします。長く続かなければラピオ改造までして税金のムダ使いでしかない。</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。 利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
46	<p>A街区新図書館建設に続いて、今度は“こども未来館”ですか？ 我々市民は“寝耳に水”と云った感で置きざりですね。 高齢者のふところは火の車で悲鳴を上げています。 これ以上税金の無駄づかいはやめて下さい。 税金は大切な市民の財産です。 忘れないで下さい。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。 事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
47	<p>税金のむだつかいにならぬよう市民の声をよく聞いて下さい(バブリーな企画ではなく)</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
48	<p>ラピオは、床を抜く等、構造上例え問題なくても、改造、改修せねばならないような利用の仕方はやめて下さい。建設にたずさわった者として、しのびない。 スクラップアンドビルドはやめ、なるべくそのままを有効に利用してほしい。 市外在住者ですが、国費(私の納めた税金)も使われるので無関心ではおられません。 建物の作りからして、市民の要望する、図書館が最良と考えます。再考をお願いします。</p>	<p>改修について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。また、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
49	<p>・ラピオの2階を吹き抜きにして、南海トラフ記録地震がいずれ来るとテレビで言っていますが、耐震は大丈夫ですか。</p> <p>・始はものめずらしいから入場料出しても何回も使用しないと思います。</p>	<p>吹き抜きの検討について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。</p> <p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
50	<p>・入場料を出してお母さんものめずらしいから最初は連れて来るが何回もこれない。</p> <p>・お母さんは今共働きしなければ将来の学費を貯める、生活がしにくいでしょう。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。</p>
51	<p>小牧市立図書館はラピオの3階4階を利用して作り直せば良いと思います。</p> <p>耐震設備もかねて作れば良いと思う。</p> <p>子供未来館も今月初めてしました。少子化時代にはいらないと思います。空き教室を使って子供未来館というか集会室を作れば良いと思います。近い所に集会室があれば子供達も集まりやすいと思います。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、子どもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p> <p>少子化によりこどもの数が減少しても、子育てやこどもの活動に対する支援は変わることなく実施すべきと考えますが、整備における必要な視点にもあるように、子どもだけでなく世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間とすることで、親から子、子から孫へと同じ空間で思い出を積み重ね、利用者の成長と共にいつまでも繰り返し利用される施設としていきます。</p>
52	<p>毎日のように平和堂に買い物など行っていました。お友だちにもそこでよく会っていました。平和堂はなくなりましたが、よく行きます。</p> <p>買い物は三河屋より平和堂の方が良かったです。私のような老人が平和堂のあともけっこう多く集まっています。ぜひとも平和堂のあとは老人のための憩いの場となるような場所を作って下さい。野口や小針のようにお風呂はなくてもいいので、ぜひとも老人が元気で過ごせる場所もを作って下さい。改装に何億も使わなくても良いので、子どもばかりの遊び場ではなく老人の施設を絶対におねがいします。</p> <p>この計画は老人の意向は聞いたのでしょうか。お友だちも私と同じ考えの人が多いです。</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>
53	<p>新たな建造物をつくるやり方は今の時代には合わないと思います。図書館を新築するのではなく、空き施設を利用するべきではないでしょうか。</p>	<p>本意見は「(仮称)小牧市子ども未来館整備基本構想(案)」に対する意見ではないため、市の考え方を示すことは差し控えます。</p>
54	<p>平和堂は毎日利用していたし、そこでお友達とお昼食べたりしておしゃべりもしていましたが、三河屋になり買いにくくなってとても残念です。お友達や知り合いも少なくなり、少しさびしい気持ちです。そしてまた子供達の遊び場にするのに税金をたくさん使って、そんなのが出来たらますます、老人はいけなくなる。老人の居場所を無くさないで下さい。</p> <p>1階は食べ物屋でいいけどもう少しオシャレなコーヒー屋さんを入れて下さい。ただし高くないコーヒーが飲めること。</p> <p>2階に図書館を入れて下さい。</p> <p>他は今とあまり変えなくても良い。税金の無駄使いはしてほしくない。</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
55	<p>ラピオの空いた所は高齢者が行って楽しい場所にして下さい。 自分も80歳で家から歩いていけるので毎日行きたくなるような憩いの場にして下さい。 今ある図書室をもっと立派にして下さい。立派というのは本を増やして座る所を増やすだけでいいのです。 ある物は大事に使い、ピーチライナーみたいにこわすことのないようおねがいします。</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>
56	<p>①ラピオに子育て世代支援センターを集中させてワンストップサービスの枠組みをつくることは賛成です。しかし、同じラピオ内につくる子供未来館と切り離して建設することは反対です。ラピオ内の改修は2階、3階、4階合わせて8000平米、一部吹き抜けにもする大がかりな改修です、つくるなら子供未来館の建設と総合的に考えるべきだと思います。 ②ラピオに子供未来館をつくるのが市民の要望なのか疑問です。「構想(案)」について、ワークショップを開催していますが、保護者、中学・高校生3回、保護者1回合わせて述べ73名。アンケートもその中の中高生15名に取っただけ。現在ラピオ4階にある子育て広場の利用者はH24年から28年の間に15000人以上減っていますが、地域の児童館の利用は増えています。これは何を表しているのか、遠くのラピオへ行くより家に近い児童館が利用しやすいということではないか。児童館が狭いから広くしてほしいという声も上がっています。市民の意見をもっと広く聞くべきです。 ③未来館構想(案)の中身ですが、吹き抜けにする必要があるのか疑問です。吹き抜けにすると、建物の強度は今よりマイナスになってもプラスにはならないと思います。そして、空調維持費は今よりは高額になります。4階には絵本図書館がありますが、2階、3階の「体を使って遊ぶ」コーナーで遊んでいる声は吹き抜けなので4階の絵本図書館を利用している人の騒音になります。それぞれ利用する人の環境を考えるべきです。 ④また、「体を使って遊ぶ」コーナーには大型遊具の導入とありますが、トランポリン、ボールプール、ボルダリング、ネット遊具等とありますが、これはスーパーのコーナーに設置してあるのを見かけます。敢えてスーパーと同じようなことを市税を使ってやる必要があるのでしょうか。もっと広く市民の意見ヲ聴くべきです。 ⑤有料にするということですが、そうすると誰でも気軽に行けなくなり、お金のある人は別ですが、何度も利用することができません。平等に税金を納めている市民が平等に利用することができない施設にするべきではないと思います。 ⑥子供未来館をつくって、ウイークデーに利用をどれくらい見込んでいるのでしょうか。当然小中高生は学校です、授業が終わっても塾や習い事で忙しい毎日を送っています。課外授業等で利用してもらうとしても、今や授業時間が足りない、教師は忙しいという現状です。利用については現実味のある具体的な提案を示すべきです。子供から高齢者がいつでも気軽に利用できる施設を考えるべきです。 ⑦小牧市は今「公共ファシリティマネジメントの推進」をしています。広報を読んだら、これは「公共施設の総合的かつ効率的な利活用を図るためのもの」ですね。ラピオ内を吹き抜けにし、子供未来館を24億円掛けてつくり、ラピオの維持管理費を増やすことが、公共施設の配置や適切な維持管理を実施し施設の長寿命化を図る「公共ファシリティマネジメント」を推進していることになるのでしょうか。私たちの税金は最小の費用で最大の効果を上げる使い方をしてほしいと思います。</p>	<p>「子育て支援の拠点」として3階に整備する「子育て世代包括支援センター」については、妊娠・出産・育児期にわたり切れ目のない支援を行うワンストップ窓口として、当初より、現在計画位置に設置し、連携を踏まえたうえで、それ以外のエリアで「子どもが主役となる拠点」を計画することとしており、施設全体として一体となった整備を念頭に進めております。 ワークショップについては、同じ参加者でステップアップするテーマで議論を深めてもらうために少人数での実施とさせていただきますが、あわせて、市内8館の児童館および中央子育て支援センターにおいて、利用する小中高生や保護者およそ400名にアンケートを実施し、要望やニーズの把握に努めました。 地域の児童館の充実について、本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものであり、多くの方にご利用いただきたいとは考えておりますが、地域の児童館の日常利用の変更を求めるものではありません。また、中央児童館である「児童センター」の機能強化により、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。 吹き抜けの検討について、建物の主要構造部である柱や梁は残すため、建物全体の強度などの安全性への影響はないと考えますが、現行基準に則り構造計算等を行い安全性を確認していきます。 「えほん図書館」については、隣接する「子育て広場」とあわせて「えほん広場」として、親子が気兼ねなく過ごせる場として整備しております。具体的な吹き抜け箇所等については、今後設計を進める過程において、改めて精査していきますが、引き続き親子が気兼ねなく過ごせる場として整備を進めていきたいと考えています。 導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、前述のアンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。 整備における必要な視点では、子どもの貧困や障がい、言語や文化の違いなど様々な課題を抱えた利用者が安心して利用できるよう、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。 平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。 公共ファシリティマネジメントの推進について、施設の長寿命化や、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
57	<p>ラピオの子供未来館構想に反対です。 子どもだけでなく高令者も利用できる施設がほしい。 児童館は中央に集中するより、地域の児童館を充実すれば、利用率が高いのだから、現状を見るべき。 屋内で大型遊具で子供たちを呼び寄せるのは、商業施設にまかせればよい。 市税を使ってやることではない。 子どもから高令者まで利用できる、図書館を入れれば良いのではないかと。</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、子どもだけでなく、子どもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。 本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。 導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
58	<p>こども未来館構想として、税金の使いすぎと思います。 いろいろな器具等含め、多大な投資を一括集中させるより、各地域にあるコミュニティセンター(児童や青年、婦人、高齢者等)等の充実や。まだ地域にないところへの設立などへ投資を回した方が効果的だと思います。 このことは小牧市各地域の多くの方が、気軽に自分の住んでいる所で利用できることや、子供、高齢者居場所の充実や見守りなど安心感もあります。長い目で見たら、地域の活性化につながってくるのではないかと思います。</p>	<p>本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものです。これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。</p>
59	<p>子供未来館に思う！ 今のこども達は大変忙しい。(じく、習い事、部活など、など) 週末、祝日だけの使用では維持していくのは無理に思います(又赤字)一部大人が使ったとしても(ボルダリングなど)大切な税金使うのはかんたん、もっとよく考えて使ってほしいです。</p>	<p>整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>
60	<p>24億円もかけるこども未来館の中味が良くわかりません。なぜ図書館では駄目なのでしょうか。費用的にも少なくすみます。ラピオに図書館の方が的を射ていると思います。既存の建物を既存のまま、必要な補修のみでの活用に賛成です。 同時に今あるそれぞれの地域の図書館も大切にしていきたいと思います。近くにあるからこそ、利用につながると思います。 巨費を投じ、どのようなりっぱな図書館であろうと遠くであれば、足しげく通う訳には行きません。ラピオにこども未来館ではなく、新たな図書館を考えるなら、ラピオには図書館を造ってください。</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
61	<p>こども未来館のラピオへの設立反対 ・吹き抜けにする工事は税金のムダ使いだと思 ・2階の3/4の空きスペースが全部埋まったとして、吹き抜け工事費の採算が取れるのか疑問 ・そもそもそれだけのテナントが入るなら、平和堂は撤退時にすぐに埋まるはず A街区の図書館建設も反対 ・駅前に図書館が出来たからといって、遠方から人が集まるとは思えない ・逆に遠方から人が集まるくらい魅力的な蔵書があれば、場所はどこでも関係ないと思う 以上のことから、ラピオの空きスペースを図書館にする方が今ある設備を有効活用でき、環境的にも良く、支出も控えられて良いと思う。</p>	<p>事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
62	<p>小牧市の財政が豊かかも知れません。このこども未来館といい、図書館といい、それを利用できる一部の人のためにもすばらしい計画かも知れません。しかし、この時代ワーキングプアで年収2、300万で子どもさんを育てている家庭も多いはず。夏休み後に体重が減ってしまう児童が多いとも聞きます。学校給食で栄養を補っている子どもがいかにか多いかを物語っているのではないのでしょうか。次の時代をになっていく子ども全てが心豊かに育つ環境作りにこの予算を使っていたきたい。</p>	<p>整備における必要な視点では、こどもの貧困や障がい、言語や文化の違いなど様々な課題を抱えた利用者が安心して利用できるよう、いつでも、誰でも利用できる日常的な居場所として整備することとしています。また、施設コンセプトでは、「こどもの夢への挑戦を応援する施設」として、好奇心を刺激する遊びや新たな創造の体験を通じて、たくさんの人と関わり、様々なことを感じ、学ぶことで、やりたいことの発見や挑戦、夢や興味の追究を応援することとしています。 本施設が、未来を担う小牧のこども達が夢や希望に満ち溢れ、心豊かに育つ環境づくりの一翼を担う場となるよう努めていきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
63	<p>こども未来館構想にびっくり！ 子供の有料施設を建設しても利用されるとは考えられない。子育て世代は共働きの多く平日にはなかなか利用できない。私達の大事な税金の無駄に使用しないで欲しい。 ラピオの空床問題については今迄の撤退の現実を見すえて検討して下さい。 ラピオ内には絵本図書館もあり新図書館もラピオ内に建設するのが費用もおさえられるし移動するのも効率的。 こども未来館維持費についてはどうなっているのでしょうか。とにかく莫大な税金がかかる事業です。とても心配しています。</p>	<p>利用料金について、本施設は、「児童センター」の移転による児童福祉施設であることから、原則無料と考えておりますが、スタジオ等の貸室や、創作活動や講座等で材料費等の実費相当額の徴収が適当と思われるものなど、導入する活動やコンテンツの検討と合わせて適正な料金設定を検討していきます。 平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。 事業費について、将来にわたる維持管理費の抑制も視野に入れ、既存のまま活用可能な箇所については、最小限の整備とし、遊具など施設としてしっかり“造りこむ”箇所と、利用者や利用目的に応じて柔軟に変化できる“造りこまない”箇所とのメリハリをつける等、コスト意識を強く持ち設計を進めていきます。</p>
64	<p>こども未来館整備基本構想に一部反対です。 ラピオの空床には子育て支援センター、高齢者支援センター、そして図書館を入れるべきです。 少子高齢化、税収の減少、市民のニーズなどを総合的に考え、大型遊具を入れるために24億円も税金を使うことに反対だからです。 図書館は子どもから高齢者まで幅広く利用でき、公共施設の中ではもっとも利用率が高いのでラピオの中に図書館を入れた場合、にぎわいが戻ってきます。それに図書館は子育て支援や高齢者支援、その他にも繋がりがあがる施設です。今後はまず市民と行政が情報を共有された上で、市民の声を聞き計画を進めるべきです。</p>	<p>「子育て支援センター」については、「子育て世代包括支援センター」として3階に整備を行います。「高齢者支援センター」について設置の考えはありませんが、整備における必要な視点に、高齢者の居場所づくりや、アクティブシニアの活力を活かすしくみづくりなど“交流と支えあいの場づくり”を挙げており、高齢者の生きがいや活力につなげたいと考えます。 導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。 事業の進捗状況については、今後も広報やホームページ等により適宜市民の皆様にお知らせしていきます。</p>
65	<p>そのように成功するかも分からないことをするよりも福祉にお金をつかって欲しいです。こども未来館に反対します。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p>
66	<p>思いつき、ゴリ押しという気がします。このこども未来館構想に反対です。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。</p>
67	<p>思いつきで何でもかんでもすすめるのは良くないと思います。 “子ども”は日中学校にいます。さて・・・それでもこの計画をすすめて良いのですか？疑問です。 無駄遣いしないで下さい。もっとやることがあると思います。</p>	<p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。 平日の利用について、幼稚園・保育園、小中学校等での団体利用も視野に入れて検討していきますが、整備における必要な視点のひとつに、こどもだけでなく、こどもを見守る大人の居場所など、すべての人が幸せを感じられる施設とすることとしております。そのため、乳幼児親子はもちろん、高齢者の方など世代を越えて多くの方に気軽に利用していただける空間づくりを検討していきます。</p>

提出された意見および市の考え方

No.	意見(原文) ※公表することが不適切な情報等が含まれていると判断されるものについては該当部分を非公表としています	市の考え方
68	<p>ラピオをどう使っていくのか、なのか ラピオに未来館をつくるから、意見がほしいというのか 疑問だけです。</p> <p>1. 大型遊具というならば、体育施設はアリーナでいいと思います。 文化施設はラピオがいいと思います。</p> <p>2. 財政的な見通しが不十分だと思います。 計画的でなく、思いつき程度の案のように見えます。</p> <p>3. もっとよく検討したほうが良いのではないのでしょうか。 以上</p>	<p>導入する遊具等のコンテンツについて、基本構想(案)では、アンケートやワークショップの結果をもとにニーズの高いものを例示させていただきましたが、具体的な導入については、パブリックコメントの意見等も踏まえ、今後設計を進める過程において、改めて精査していきます。</p> <p>本施設は、平成27年3月策定の「小牧市子ども・子育て支援事業計画」で、中央子育て支援センターや児童センターの狭隘化により利用者受入に限界があるなど不都合が生じていることから、こどもや子育て世帯のニーズに応えられるよう、総合的な子育て支援施設の整備を検討することとしており、計画に基づき適切に進めております。したがって、本施設は、中央児童館として市内の児童館を牽引する「児童センター」を移転し、機能を拡充するものであり、これまで以上にその役割を果たすことで、地域の児童館の充実も図っていきます。</p>
69	<p>まず、住民投票で負けたにも拘わらず、何が何でも新築図書館をつくらうとするのはおかしいと思います。市長は、住民の代表であって、市長がやりたいことをするのが市政ではないと思います。住民の中には、ラピオを整備すれば莫大なお金を投じなくても図書館が実現できるという意見が沢山あります。ラピオにこども未来館をつくらうとするのは、図書館として整備させないための策に思えてなりません。元々、こども未来館という構想は、小牧市の総合計画にもH29施政方針にも載せられていません小牧市は、財政力指数の高い豊かな自治体です。豊かな財政力は、住民の生活力向上や医療、福祉のように住民の必須の領域に使ってほしいです。</p>	<p>本意見は、住所、氏名が未記入であり要件を満たしていないため、意見として取り扱わないこととさせていただきます。</p>